

関西福祉大と太子高が連携協定 出張授業や施設相互利用

関西福祉大学・兵庫県立太子高等学校
高大連携事業に関する協定調印式



連携協定を結んだ安井学長(左)と菅生校長(右) 関西福祉大学

関西福祉大学(赤穂市新田)と太子高校(太子町系井)が25日、地域貢献と人材育成を目的とした「高大連携事業」に関する協定を結んだ。

協定では、双方が協議の上、関西福祉大学の教員による出張授業や、施設の相互利用などを実施する。太子高校は2年生が福祉や看護などさまざまな学習を行うカリキュラムを2014年度から始めるため、福祉や看護の専門家が在籍する同大と協定を締結した。同大で行われた調印

式には、同大の安井秀作学長と同校の菅生安展校長らが出席。安井学長は「高校との連携を強化し、地域を支える専門職を育てたい」と述べ、菅生校長は「生徒が将来の仕事を考え

る上で、専門的な授業を役立ててほしい」と話した。(杉山雅崇)

神戸新聞

2014. 3. 26